

佐賀県

い ま り NPO 法人伊万里はちがめプラン

生ごみを宝に、食資源循環によるまちづくり



保育園児と地元老人会とで菜の花苗の移植



生ごみ堆肥化プラントと見学者



小学4年生のはちがめ教室の風景

取組概要

- 飲食店のグループがH9年に商工会議所の協力を受け、生ごみ堆肥化の研究を開始。H15年に当法人設立。
- 生ごみ堆肥化実験プラントがH12年に完成。現在、一般家庭300世帯、食品関連71事業所の参加協力によって年間500トンの生ごみを回収し、良質な堆肥250トンを生産。
- 市内の小学4年生約300名に対して当法人の環境活動の実践を通して環境教育を18年間継続実施。

活動成果

- 生ごみ焼却費年間1,350万円の行政経費節約とCO₂削減1,000トンを実現。全国からの視察、見学者やJICA紹介による海外からの研修生を受け入れ、食資源循環の必要性を訴えている。
- 市立保育園と学校給食センターの生ごみ全量が堆肥化の委託契約となる。市内全保育園への菜の花苗を配布し、菜の花栽培等の取組を実施。
- 小学生への環境教育の結果、校区内団地の120世帯が生ごみ分別グループへ参加。

た ら だけ かいどう
多良岳オレンジ海道を活かす会

多良岳オレンジ海道を活かした農村の再興



ぶどう観光農園

オリーブオイルと
ミカンジュース

そば打ち体験



農泊(受け入れ農家との集合写真)

取組概要

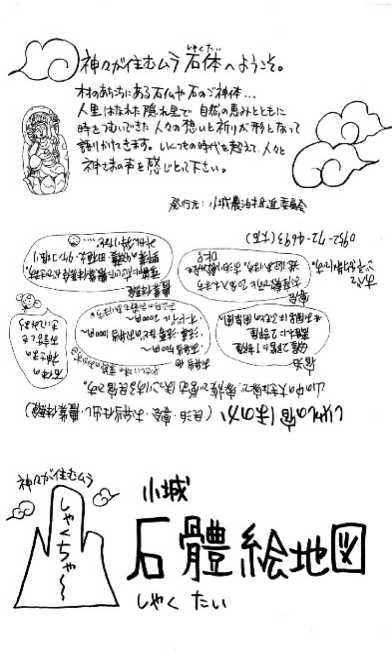
- 高齢化等により、農地の荒廃化が目立つようになったことから、平成23年に地域農業の再生を目的として設立。
- オリーブの試験展示圃(約30a)を設置し、オリーブオイルの特産化に向けた取組を行うとともに、無農薬みかんのジュースや冷凍果実の商品化に取り組んでいる。
- 観光農園(ぶどう・みかん)等の、耕作放棄地を活用したそば作り、農泊等に取り組んでいる。

活動成果

- 年々、活動の幅が広がっており、協議会の活動を地域または近隣市町村に認知されるようになってきている。
- 集客イベント等の交流事業の参加者は、平成28年の開催当時から倍増している。
- 耕作放棄地を活用し、オリーブの試験展示圃の設置やそば作りに取り組むことで、耕作放棄地の解消や新たな特産品づくりに繋がっている。

やど
いやしの宿ほのか

神々の棲む隠れ里を人々の集まる桃源郷に



取組概要

- 八百万の神々が棲むといわれる山里の石體集落で、平成23年から毎年4月と9月に、石體の収穫物の販売や石體太鼓を披露する「石體祭り」を実施。
- 石體に祀られている50もの神様を知ってもらうため、絵地図作家を招いてイラスト地図を作成。また、神話や歴史を絵本にまとめて周知を図っている。
- 農泊とセットの各種体験（季節に応じた農業体験、神様巡り体験、そば打ち体験、ミカンちぎり体験）を実施。

活動成果

- 各種体験型観光づくりの取組は、地元の方は勿論、都会から自然を味わいに来たお客さんに喜ばれている。昨年の宿泊・体験者は前年の4倍となった。
- 石體祭りや、美味しい田舎料理が食べられ、体験型の観光を行っていることから、少しずつ知名度を上げており、テレビ局の取材も受けるようになった。
- 毎年6月に住民で行う集落への道（10キロ程度）の草刈り作業等に、若い世代の参加もみられるようになった。

コミュニティ部門

たけ

岳の棚田環境保全協議会

地域の宝、棚田の資源を次世代に繋ぐ！



Tシャツアート展の遠景



棚田米



芋掘り体験



そうめん流し体験

取組概要

- 岳の棚田の農業の活性化と景観保全に向け、地域農業者、商工業者及び地域住民の協力による都市農村交流等の推進を目的にH28年に設立。
- 棚田に100枚以上のTシャツ作品を展示するアート展を開催。Tシャツは全国から募集したデザインをプリント。棚田のライトアップや棚田米を始めとする地元農産物や加工品の販売なども実施。
- 果樹や畑のオーナーを募集し、オーナーとともに耕作放棄地をよみがえらせ、管理を実施。

活動成果

- Tシャツアートをはじめとする集客イベントだけでなく、体験(芋掘り、そうめん流し、ピザづくり、蕎麦打ち等)の提供にも取り組み、交流人口の増に繋げている。
- 集客イベントや体験の提供にあたっては固定客もついてきており、都市農村交流が定着しつつある。
- 地元工業高校や地区小学校との連携等も整いつつあり、若い感性を取り入れた既存の取り組みのブラッシュアップ等に期待が持てるようになってきている。

岳の棚田環境保全協議会

佐賀県西松浦郡有田町立部乙2236-1 Tel : - Fax : 0955-46-4688

個人部門

いけだ ひろし
池田 大志氏

地域資源を活かし農業を「農産業」へ



自社製品のあま酒と黒豆グラッセ、
AI酒、麦茶



IT企業との連携
ドローンでの薬剤散布



県内外から参加する収穫体験



海外販路拡大へ 商品PR

取組概要

- 農家の高齢化が進み、受け手がない点在している小さい区画の農地を受ける生産法人をH19年に設立。スマート農業、6次産業化、農産物の輸出など、多角経営を確立。
- H28よりグリーンツーリズムを企画開始し、農村地域の魅力発信に取り組んでいる。
- 生産効率の向上を目指し、地域の農業組織と話し合いの場を持ち、農地の集約化(団地化)に取り組んでいる。

活動成果

- 6次産業化の取組は、麦茶、AI酒、甘酒、黒豆グラッセ等、ニーズに応じた商品を続々と開発し、販売額はこの2年間でH27年の約7倍となっている。
- H30年より流通業者と提携し、香港への農産物輸出を開拓。昨年は6.93tの米を輸出した。
- 経営農地以外でも基幹作業のオペレーター役、農業機械のシェアリングを行うなど、地域農業組織と連携した営農が展開されている。

池田大志氏

<https://www.ikemako2007.com/>

佐賀県佐賀市川副町大字犬井道2345-5

Tel : 0952-45-0460

Fax : 0952-45-8081